

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000048
法人名	株式会社 小園
事業所名	グループホーム すもも
所在地	鹿児島県指宿市東方2337番地9 (電話) 0993-25-6001
自己評価作成日	平成27年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者全員の心の安定はもちろんの事、地域密着型の施設である為地域に溶け込んで、共に地域のために尽くして行きたい。
また温泉が出る為に入浴に来て頂いたり、お茶やレクリエーションを楽しんでいつでも遊びに来れるような明るく楽しい雰囲気づくりを目指しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域住民も加わり、施設長と職員みんなで考えた理念「尊厳ある暮らしの継続を支援する事」と「地域密着型サービスをめざす」が、ホールに掲げてある。
- ・当ホームは温泉が湧出し、温泉をゆっくり楽しんでいる。温泉の湯を利用して足元に「陶器の湯たんぽ」を入れて暖かくして、利用者から「よく眠れる」との声も寄せられている。
- ・災害対策については、地区の防災組合や消防分団・地域住民の協力の体制作りが整っている。
- ・利用者毎に担当職員を決めて、利用者と密な関係ができている。利用者の思いや気持ちを把握し、利用者本位のケアが提供されている。家族も相談しやすい関係にある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でのグループホームとして施設長と職員全員で理念を作り、共有して毎日の実践に繋いでいる。	尊厳ある暮らしの継続を支援する事と地域密着型サービスをめざし地域住民も加わり、施設長と職員みんなで考えた理念がホールに掲げてある。職員会議で理念を確認したり、朝のミーティングで時々唱和して共有しケアにつなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の集落の行事（運動会、花見会等）には積極的に参加が出来ている。また地域のボランティアの活動も地域の方と一緒に参加できて交流が出来ている。	自治会に加入し回覧板を通し情報交換している。地域の行事や清掃活動に積極的に参加している。近所から野菜などおすそわけがあったり、地域住民から介護相談を受ける等、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方と利用者と一緒にお茶やレクリエーションを楽しんで貰ったり、声掛けはしてはいるが思うように実践は出来てはない。介護への相談などは受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に6回は開催しており入居者やご家族の代表者や行政の参加により、少しずつではあるがサービスの向上に努めている。	入居者代表や家族代表・市役所・民生委員・事業所関係者の出席で、定期的に行なわれている。事業所の活動報告や改善課題・現在取り組んでいる事・外部評価の結果報告等をして、参加者から提案や意見などがあり、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的に市町村役場や地元の民生委員宅へ出向いて連絡は取っており指示を受けたりしてサービスの質の向上に取り組んでいる。	行政担当者は運営推進会議に参加し、事業所の実情や取り組み状況を伝えている。管理者は直接出向いて、利用者の相談や運営上のアドバイスを得ている。行政からの会議や研修も積極的に参加し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	去年末から感染症が発生したために一時的に玄関の入り口を施錠して面会者や一般の方の出入りを制限した時期が有ったが、現在は通常の状態に戻っている。今後も身体拘束ゼロを目指すケアに努めていく。	研修や勉強会で事例検討を実施し、身体拘束ゼロを目指したケアに取り組んでいる。昼間は玄関の施錠も無く開放されており、外出しようとする利用者がいても様子観察をしながら一緒に散歩をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	身体的な虐待や言葉の虐待、金銭的な虐待なども含めて常に注意をしながら業務に取り組んでいる。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	特に権利擁護に関する勉強会は設けてはいないが、制度の内容の説明は機会があるごとに説明はしており、研修会にも参加している。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に当たってはご家族に十分に説明を行い理解、納得を得ています。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させていている。	年に6回の運営推進会議や家族会議、面会時など利用者と御家族に意見、要望などを聞いて職員で回答してケアの中で活かしている。	利用者の意見は日常の会話の中で聞いたり、家族からは運営推進会議や面会の時に最近の状況を話して意見を聞いたりしている。利用者は受け持ち体制であり、担当者に言いやすい関係ができている。出された意見や要望は運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の職員会議、ケア担当者会議を実施しており、その際には代表者も参加しており全職員の意見も聞く機会を設けている。</p>	<p>ミーティングやケア会議・職員会議の中で意見や要望等を聞く機会を持っている。毎月の全体会議は、代表やデイサービス職員も参加し、日頃の気付きや提案を自由に話し合い運営に反映できるように取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>開所当初から就業環境は改善されており、全職員がやりがいがあってチームワークのある働きやすい職場環境にと条件整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回のケア担当者会議の中でケアの統一を目指しての確認を行ったり、他の研修会にも参加してケアの質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同業者との交流を積極的に行って勉強会などにも参加してサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には必ず利用者とそのご家族と対面して関係づくりに努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にはご家族の要望、意見などをしっかりと傾聴してご家族の気持ちになり関係つくりに努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にはご家族の要望、意見などを把握して、施設では対応できない場合には、包括支援センターなどに相談している。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者という感覚ではなく一緒に生活していく家族だということを念頭において支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	常にご本人とご家族の絆を大切に考えながら、ご家族と共にご本人を支えている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	馴染みの人や場所の関係は入所後も大切にしている。	友人に連絡して会いに行ったり、行き馴れた理・美容室に家族と共に出かけて懐かしい話しなどを楽しんでいる。夏祭りや運動会などを通し、馴染みの人や場との関係が途切れないように支援に努めている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者一人ひとりの個性に合わせて共同生活を楽しめるように、昼間は出来るだけ居室だけの生活は避けて、ホールでの行事に参加できるように心がけている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	病気などで入院してその後退居になったときでも、関係を断ち切らないように面会をしたり今後のことなどを相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者一人ひとりの思いや希望を把握して希望に添えるように支援をしている。</p>	<p>日常の暮らしの中で意向や思いを傾聴できるようになっている。入浴の時や夜間、眠れない時など、タイミングをみて懇談をしている。懐かしい思いなどを聞いて記録し、職員全員で共有している。意思疎通が困難な場合は表情やしぐさ等から思いや意向を把握し、本人中心に支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴などは御家族及びご本人から十分な聞き取りをして支援の中で活かしていく様に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者全員の健康状態には十分注意して対応をしており、その人にあった一日の過ごし方と残存機能を活かしてのケアに取り組んでいる。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ゆったりとした生活が送れるよう個人が満足して生活できるように、関係者と話し合い検討して、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者や家族の意向に沿った課題とケアについて話し合い介護計画を作成している。毎月のケア会議で利用者の状態や変化などの意見を出し合い、ケアを確認している。3ヶ月ごとにモニタリングで評価し、現状に即した介護計画となるよう見直している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を充実したものにして情報を共有してケアの中で活かしている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日のそのときのニーズには職員全体で解決に向けて話し合い対応は出来ている。また日々新しいことにも挑戦する気持ちで取り組んでいる。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が心身の機能を發揮して安全で豊かな生活は出来ているが、地域の資源を活かしての生活の充実となるともう少しという所です。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を尊重はしているが、特に内科の協力医と診療所と連携して定期的に受診できるようにしている。	本人や家族からかかりつけ医の希望を聞いて受診を支援している。協力医の2週間に1回の往診もある。受診の時は事前の情報を担当医へ報告して家族に付き添ってもらったり、家族が行けない場合は職員の対応で行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	利用者の健康状態を常時看護師が把握して他の職員にも報告して適切な処置対応が出来ている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者とそのご家族が安心して治療が出来るように見舞いに行ったりしてその状況も報告しあったり、病院関係の職員とも関係つくりを普段から心がけています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化して終末期になった場合には見取りまでは対応できないことになっているので、入居前にはよくご家族とも話し合いをしており了解を得ている。	終末期の対応について契約時に説明し、終末期のケアはできないが、家族が不安にならないように対応していくことの同意を得ている。重度化になったら早めの対応をして段階的に家族と連携を取り合い、主治医の指示を受けて支援を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時に備えての対応は定期的なケア会議や訓練などで全職員に実践力を身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地区の防災組合との連携体制が出来ており、地震や火災時の備蓄も出来ている。	消防署の協力を得て火災避難訓練を昼夜間を想定し実施している。マニュアルを作成しており、地域の協力とともに行っている。地区の防災組合との連携をとり、地域の防災消防分団との体制作りをしている。緊急通報連絡装置や消火器、スプリンクラーなどの定期点検や防災対策用具や備蓄も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	一人ひとりのプライバシー・人格は尊重しながら言葉掛けやケアに取り組んでいる。	毎日のミーティングや職員会議を通じ人格の尊重や尊厳について話し合い理解を深めている。居室への入室時や利用者の私物管理・トイレや入浴時のドアを閉めるなど、利用者の尊重やプライバシーを損ねないケアが取り組まれている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者の思いや希望については自由に表出できるような体制になっている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者個々人の要望を良く聞き、その方のペースで生活できるように取り組んでいる。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	その人らしい身だしなみやおしゃれが楽しめるように普段から心がけて実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	時には嗜好調査をしたり、また行事食を提供したりして、四季折々の季節感を楽しめるように食事を工夫している。昼食は職員と一緒に食事を楽しめる雰囲気つくりもしています。	事業所で育てた野菜を使ったり、産みたて卵や近隣の住民からの差し入れなど、旬の食材を使って、食事の準備や後片付け等を職員と一緒に行っている。行事食や誕生日食・外食も利用者のリクエストに応じ支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や栄養面に関しては職員全員で定期的に検討しながら献立も作成しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には全員の航空ケアを実施して、ご本人の能力にあつたケアを実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄に関しては定時にトイレ誘導をしてオムツはずしを目標にして排泄確認表をもとに自立に向けたケアに取り組んでいる。	排泄パターンや習慣性を記録で把握して、オムツを減らす工夫をしている。個別に声かけをして、自立支援に向けてさりげないトイレ誘導をしている。便秘対策もヨーグルトや繊維物の多い食材を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の業務の中で排泄表を元に便秘をしないように内服などで調整して、個々に応じた対応を行っている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	施設の温泉を楽しめるように週3回は午前中に入浴できるように支援している。	事業所に温泉があるので、温泉が楽しめるようにしたり、羞恥心や不安にならないように会話を楽しくしながら入浴支援をしている。週3回午前中に入浴できるようにしているが、希望があればいつでも要望に応えるようにしている。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の睡眠は大切ということは職員は理解しており、気持ちよく睡眠が取れるように環境も整えている。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全利用者の薬の服用については職員全員が良く理解が出来ており、副作用などについても必ず薬説明書を見て誤薬がないように名前の確認も声を出して3回確認を実施している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活暦を活かして毎日の生活を楽しめるように支援をしている。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に沿って外出などは出来るように支援している。	利用者の希望で散歩や買い物・鶴小屋の世話等に出かけている。ドライブで花見や外食など積極的に戸外に出かける支援をしている。家族の協力を得て一緒に出かけている。		
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことの大切さは理解できているが、所持するとなると理解できないことが多い。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	『すもも個人便り』を毎月家族へも送付したり、近況を電話で話したり連絡したりなどの支援を行っている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間に関しては、常に季節感や生活感を取り入れて居心地の良いホームつくりをしている。	共用空間は天窓があり、窓が多く光が差し込み明るい。換気もされており、空気清浄器も置かれている。季節の花が生けてあり、季節感のある装飾もある。台所からゆったりとくつろいでいる様子が見える。テレビの音量も適音で、過ごしやすい工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダや畳の部屋を使用して利用者同士の思い思いの空間を使用しての過ごし方を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者個人の居室はご家族と相談をしながら居心地よく生活が出来るように工夫をしている。	エアコンやベッド・クローゼット・ナースコールが設置されている。畳の部屋もある。家族との思い出の写真やテレビ・仏具・飾り物など自宅で使い慣れた愛着のある道具などを持込んで居心地よい部屋づくりの工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの出来ること分かることを把握して個性を活かして安全な生活を楽しめるように工夫をしている。		

V アウトカム項目

	56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
	57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
	58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
	59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない